

国内乳製品市況

生乳生産は23年11月以降前年を上回ってきましたが、12月の生乳生産は前年比0.1%減、中でも都府県の生乳生産は1.1%減となっています。牛乳等向けが1.5%減となったため、乳製品加工向けは1.4%増となり、バター生産は6.9%増の6,230トン、脱脂粉乳は3.4%増の1万4,750トンとなりました。バターの在庫は前年度末に比べ100トン減、脱脂粉乳は7,600トン減と引き続き減少しています。

生乳生産量及び用途別処理量

(単位:千トン)

	24年 12月	前年比 (%)	24年度 累計	前年度比 (%)
生乳生産量	632.3	▲0.1	5,705.1	1.7
北海道	327.6	0.7	2,955.6	1.4
都府県	304.6	▲1.1	2,749.5	2.1
牛乳等向け	312.2	▲1.5	3,069.8	▲1.2
乳製品向け	315.1	1.4	2,591.1	5.7

24年度累計において、乳製品向けのうち特定乳製品向けは7.5%増、その他の乳製品向けは4.2%増(チーズ向け2.1%増、クリーム等向け2.8%増)

牛乳等生産量

(単位:千トン)

	24年 12月	前年比 (%)	24年度 累計	前年度比 (%)
牛乳	244.3	0.2	2,331.8	▲0.7
加工乳・ 成分調整牛乳	39.5	▲13.8	386.2	▲12.6
乳飲料	97.5	0.1	1,041.2	3.0
はっ酵乳	72.6	9.1	746.3	13.6

12月のはっ酵乳の生産量は9.1%増と高い伸びであり、年度累計では13.6%増と依然好調に推移している。

主要乳製品生産量

(単位:トン)

	24年 12月	前年比 (%)	24年度 累計	前年度比 (%)
バター	6,230	6.9	48,871	13.8
脱脂粉乳	14,750	3.4	99,562	3.6
れん乳類	3,853	▲10.8	30,510	▲1.5
全粉乳	997	▲12.7	8,755	▲7.6
チーズ	11,241	▲1.2	101,438	0.8

バター、脱脂粉乳の期末在庫

(単位:千トン)

	24年12月	23年度末	23年度末比
バター	19.0	19.1	▲0.1
脱脂粉乳	40.3	47.6	▲7.3



● 注目点

社団法人日本酪農乳業協会『平成25年度生乳及び牛乳乳製品の需給見通し』

- 生乳生産量：酪農生産者戸数及び乳牛頭数の減少傾向から北海道では24年度をやや上回りますが、都府県は下回ると見込まれ、全国でも24年度をやや下回る見込み。
- 牛乳等生産量：はっ酵乳は伸び率の鈍化はありますが、引き続き好調に推移すると見込まれ、牛乳類は需要の減少基調から24年度を下回って推移する見込み。
- 乳製品需給：乳製品向け処理量は24年度と同程度かやや下回る程度の見込み。脱脂粉乳・バターの生産量についても24年度と同程度かやや下回る程度の見込み。
- 25年度在庫：25年度のカレントアクセス等による輸入を勘案しても、脱脂粉乳・バターともに生産が消費を下回る状況が継続する見込み。

この需給見通しによると、乳製品の供給制限解除とはならず、25年度の乳価は飼料価格の高騰及び円安による生産コスト上昇を背景に値上りが見込まれ、仮に24年度に引き続き加工向乳価が値上りし、乳製品価格が値上がる状況になった場合、更に国内乳製品需要の減退を招く懸念があります。